

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構

pmda No.27 2011年10月

溶解液が添付されている医薬品の取扱いについて

POINT 安全使用のために注意するポイント

(事例1) ステロイド剤の静注指示に対して、研修医は溶解液のみをとり出し、患者に連日投与してしまった。

1 取扱い上の注意点について (その1)

- 薬剤と溶解液がセットになっている注射剤があるので、必ずラベルを確認すること。

ファイザー (株)



ソル・コーテフ注射用 100mg



ソル・メドロール静注用 40mg 他

中外製薬 (株)



ピシパニール注射用 5KE 他

MSD (株)



マスキュラックス静注用
4mg

富士製薬工業 (株)



マスキュレート静注用
4mg

これら写真の注射剤は、実際に溶解液のみを投与してしまったとの報告があります。

他にも溶解液がセットになっている医薬品は多数ありますので、院内の採用品目を確認の上、誤った投与にならない工夫が必要です。

溶解液 1mL
要処方
日本薬局方
注射用水

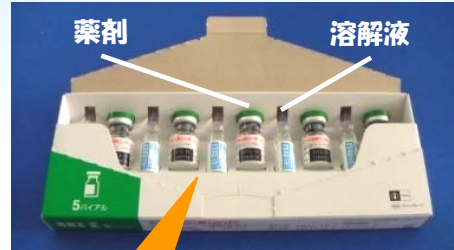


包装による誤投与の要因

二段包装

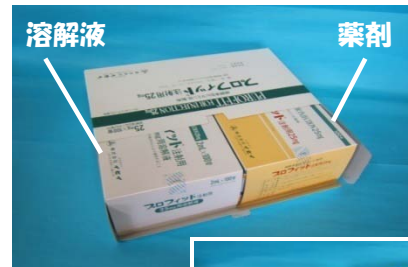


交互包装

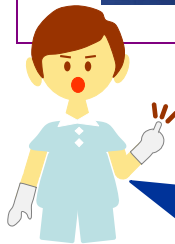


薬剤と溶解液が交互に並んでいる

別箱包装



薬剤と溶解液が別々の箱に入っている



製品によって、包装形態はさまざまです。
箱から使用する場合、溶解液のみ取り出さないように注意しましょう！

救急カートなどから、誤って**溶解液**のみ取り出してしまう、投与してしまった事例もあります。

右のように、**薬剤と溶解液がセット**であることがわかる工夫をすると、気づきやすいですよ！

例 1



輪ゴムでまとめる

例 2



1セットごとに囲む



(事例2) 薬剤師が、ベストロン点眼薬の溶解液だけを病棟に交付してしまった。病棟看護師もそれに気づかず、患者に連日溶解液のみを点眼してしまった。

2 取扱い上の注意点について (その2)

- 薬剤と溶解液がセットになっている外用剤があるので、必ずラベルを確認すること。

千寿製薬 (株)



カタリン点眼薬
0.005%



カタリンK点眼薬
0.005%



ベストロン点眼薬 0.5%



ベストロン耳鼻科用 1%

参天製薬 (株)



エコリシン点眼液



ピパレフリン点眼液 0.1%
他

日東メディック (株)



ピレノキシ点眼薬
0.005%「ニットー」



点眼用エコリット

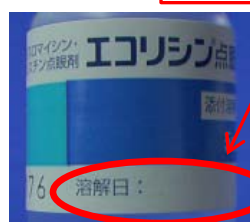
アステラス製薬 (株)



タチオン点眼薬 2%

溶解済みかどうか識別できるように、以下のような工夫をすると、気付きやすいですよ！

例1



溶解日を記載する

溶解したら
書き込む

例2



溶解後であることがわかるよう
シールを貼る

溶解したらキャップ部に
シールを貼る



(事例3) エンブレル皮下注用の冷蔵庫に保存されている薬剤本体に気づかず、溶解液のみを患者に注射してしまった。

3 取扱い上の注意点について (その3)

- 薬剤本体と溶解液の保存温度が異なることから別々に保管している医薬品は、誤って溶解液のみ投与しないよう、注意すること。

エンブレル皮下注用

薬剤本体



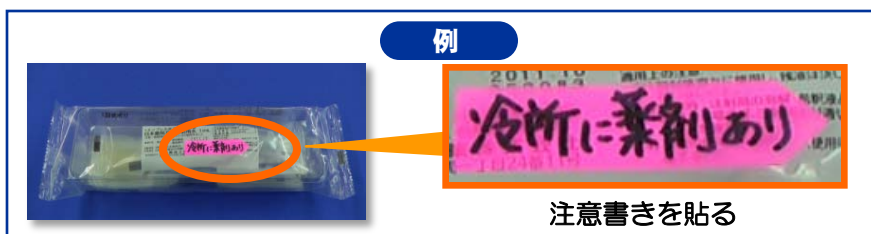
冷所保管

皮下注用セット



常温保管

異なる場所 (冷蔵庫など) にも薬剤があることの注意書きを溶解液の方に貼るなどの工夫をすると、気づきやすいですよ！



本情報の留意点

- * このPMDA医療安全情報は、財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業報告書及び薬事法に基づく副作用・不具合報告において収集された事例の中などから、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家の意見を参考に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。
- * この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
- * この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。